

主催者あいさつ

21世紀臨調共同代表 佐々木 毅

本大会の趣旨につきましては、ただ今委員長からご説明がございましたので繰り返すことはいたしません。が、昨年、マニフェストという新しい政党政治の武器を使うべきであるという主張を致しました。この団体と致しましては、今日の大会はひとつの当然の帰結でございます。その意味で入り口と出口というかたちで我々としては今日をもってひとつの我々の試みのひとつのサイクルである、というふうに認識を致しております。

ところで、実際にマニフェストをどのような形で分析し、評価をするのかという作業につきましては、我々、総じて、今まであまり経験をしたことがございません。で、今日は大変ありがたいことに、いくつかの団体の皆様のご協力を得まして、実際にどのような形でこの評価が可能であるかということにつきまして、参加者一同、政党の方々などのご協力も得まして、この作業の具体的なありかたにつきまして、勉強をする機会とさせていただきたいと思っております。でございます。

政党の側でのご努力をいろいろお願いしなければいけないということは、多々あるかと思いますが、同時にまた、国民の側におきましても、どのような形でこうした政党の試みをきっちり受け止めていくか、そして、それによって新しい政党政治の動きが出てくるようにすることができるのか、こうした点につきまして、一緒に考えてまいりたいと、このように思っているところでございます。ま、そういう観点から、少し、お互い肩の力を抜きまして、この本大会が次の大会につながっていく、そういう展望のある会合として、是非、実現できれば大変うれしく思っているところでございます。

ご協力感謝し、また、ご清聴をあらかじめ感謝申し上げます。ありがとうございました。